

憩いの丘で

ミニ夏祭り

さ ばーとステーションゆう
あい「憩いの丘」は8月

28日に「ミニ夏祭り」を実施しました。施設内の会場に「ポップコーン」「綿あめ」「射的」の露店を設置し、お祭りの雰囲気を作りました。

会場は利用者に協力してもらって完成させました。日ごろより取り組んでいる塗り絵の用紙を再利用し、三角に折ってもらってガーランド（飾りひも）を作り、天井から吊るして会場全体を彩りました。看板やポップ類は、一文字ずつ貼り絵などで作成しています。折り紙を小さくちぎる人と貼る人に分かれ、利用者全員が手を加えた手作りのお祭り会場ができ上がりました。

サプライズを目的に、当日までミニ夏祭りに関して利用



射的を楽しむミニ夏祭りの参加者

者には伏せていたので、飾りの準備期間の途中で「これは何になるの?」「何の文字になるのかな?」などの質問が聞かれ、支援員たちもドキドキしていました。

当日は、「高齢者班」と「生産活動班」の2班合同で19人の利用者が参加しています。

いよいよ「ミニ夏祭り」が始まると、法被を着た利用者が露店の交換チケットを受け取って会場へ。会場を見ると「すごい」「これ、作ったやつだね」などと声を上げてい

ました。綿あめは、機械を使用して自分たちで作り、ふんわりとできたものを見ておもしろそうに口に運びました。「パンパーン」と音を立てながら飛び交うポップコーンに見入った後は、温かいうちに味わって満足げな様子。射的は狙いを定めてもなかなか的を倒せず、支援員に「オマケ」をしてもらいながら欲しい景品を手に入れています。

ひと段落すると、二度目のサプライズでスイカを受け取り「おいしい」と喜びながら食べていました。行事の締めは恒例の「万歳三唱」で終え、後片付けを積極的に手伝ってくれる利用者がいて大変助かりました。

小さな行事ではありましたが、夏の終わりにたくさん利用者に喜んでもらうことができました。昨年に続いて今年もコロナ禍で大変な日々を過ごしていることもあり、9

月の「ゆうあいフェスティバル2021」は中止となりました。今後も感染対策を徹底し、利用者の楽しい思い出を少しでも増やしていけるよう支援していきたいと思っています。

製パン事業で

生地冷凍発酵機を導入

公益財団法人ヤマト福祉財団による「障がい者給料増額支援助成事業」を受け、生地冷凍発酵機（全自動ドウコンディショナー）を購入したのでお知らせします。

デイセンターあすなろで行われている製パン事業の中で、パン焼成前の最終発酵として発酵機（ホイロ）を使用していますが、当日早朝から仕込み生地に対応しなければ

ならず、早朝勤務が難しい利用者の作業の種類が限られていました。

そこで、新たに生地冷凍発酵機を導入することで利用者の作業の幅が広がり、売り上げ向上や給料の増額につながると考えています。

ヤマト福祉財団に感謝の意を表します。

■事業名 生地冷凍発酵機の購入

■整備内容 生地冷凍発酵機1台（株式会社愛工舎製A—DP—3222A）

■設置場所 デイセンターあすなろ製パン作業室

■総事業費 187万円

■助成金額 170万円

■事業完了日 令和3年9月30日



新たに導入した生地冷凍発酵機